

新入社員合同入社式 (3月22日)



新社会人として決意を表明

大館商工会議所、大館北秋雇用開発協会が主催する新入社員合同入社式がブラザーの子で開かれ、新入社員たちは社会人としての誓いを新たにしていきました。

入社式には、この春から就職する25企業、51人が参加。

新入社員を代表して、大館桂工業の小田桐和也さんが「私たちの仕事は会社や地元発展・向上につながるよう精いっぱい頑張り、早く学生気分を払拭して、必要とされる社員になりたい」とあいさつをし、社会人としての新たな一歩を踏み出しました。

サケの稚魚放流式

(4月8日)



ばいばい、またね!

つららかな春の日差しの中、サケの稚魚放流式が長木川白鳥広場で行われました。市内の保育園や小学校などの水槽で、体長5センチほどに育てられたサケの稚魚約3千匹を含めた10万3千匹を放流しました。

参加した小学生や市民約130人は、バケツの中で泳ぐ稚魚に声をかけながら川にそっと放流し、新しい世界への旅立ちを見送っていました。

大葛小学校閉校式 (3月25日)

大葛小学校は、明治7年9月13日創設され、創立当時の卒業生は5千人超。

閉校式には、全校生徒21人のほか、卒業生や歴任教職員、地域住民など280人が出席。児童が学校の歴史や年間の学校活動、地域とのふれあいなどをスライドで紹介し、名残を惜しみました。

式の終わりには「ありがとう」「さようなら」と生徒みんなで声を合わせて呼び掛けた後、最後の校歌を校舎に響かせました。



慣れ親しんだ校舎とお別れをしました

観光案内所オープン (4月1日)

大館の玄関口であるJR大館駅と、「まちなか観光」の中心となるいとく大館ショッピングセンターの2カ所に観光案内所がオープンしました。

オープニングセレモニーではテープカットなどが行われ、来秋の秋田デザインেশンキャンペーンに向けて、市の観光情報の発信拠点となることが期待されています。

大館駅舎内には物販コーナーも設けられ、曲げわっぱや地酒、銘菓などが数多く並んでいました。

『NOSHOGU館フレッシュユハチ』がオープン (4月1日)

「大館を元気にする女性の会」が運営する地場産直売所「NOSHOGU館フレッシュユハチ」が、大町のハチ公小径にオープンしました。

直売所では、地産地消と中心市街地活性化を図るため、地元の野菜や果物、お弁当など地場産農産物を中心に販売を行います。

晴天に恵まれたオープン初日には、約150人の市民らがオープニングセレモニーに駆けつけ、NOSHOGU館の門出をお祝いしました。



多くのお客さんと販売しました



大館駅にオープンした物販コーナー